

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2020年4月13日～2020年4月17日】

世界経済成長率見通しを引下げ

- ◆ IMF（国際通貨基金）が2020年の世界経済の成長率見通しをマイナス3.0%に引き下げたことから、世界経済後退への懸念が高まり、米国10年国債は買いが優勢となりました。
- ◆ 米国経済の悪化を示す経済指標が相次いで発表されたことも、米国10年国債が買われる一因となりました。

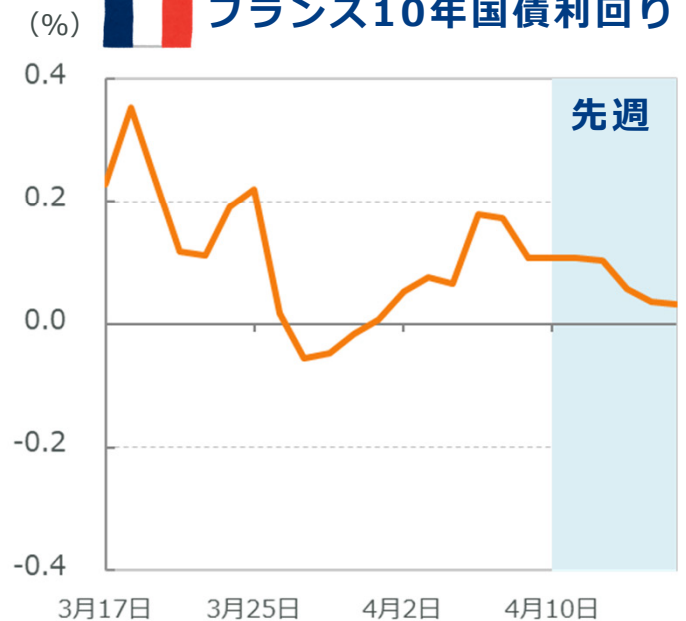
米国10年国債利回り



日本10年国債利回り



フランス10年国債利回り



(注) データは2020年3月17日から2020年4月17日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

1/2

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよコツとマーケット

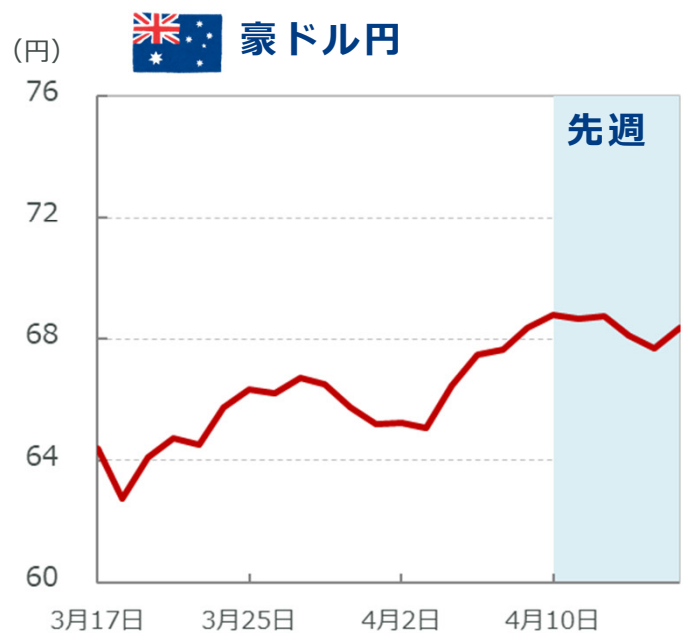
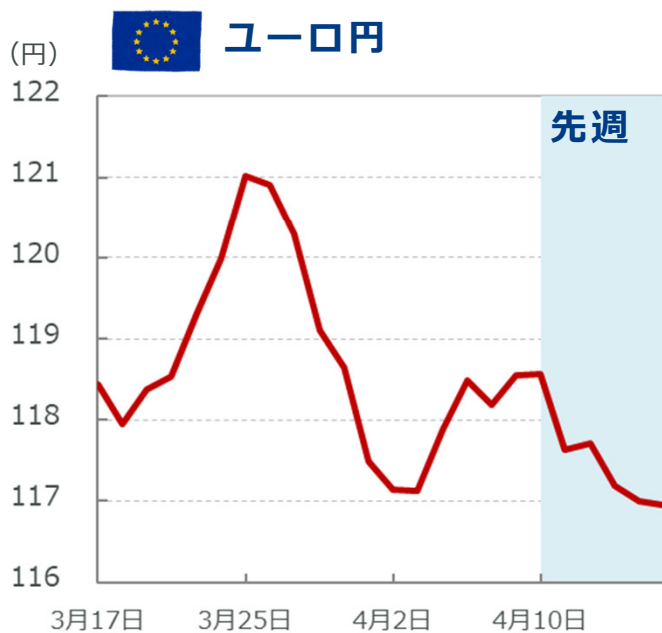
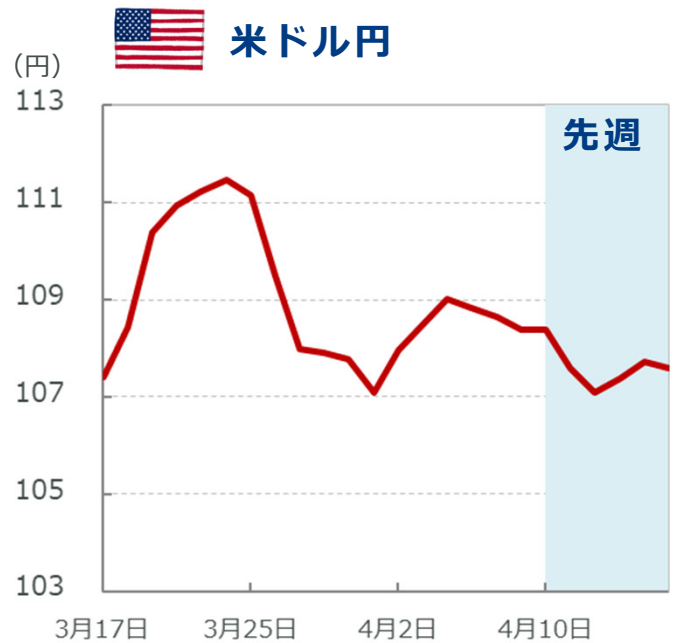
(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2020年4月13日～2020年4月17日】

円は対米ドルで小幅に上昇

- ◆米経済指標の悪化などから、米景気の先行き不透明感が高まり、円高・米ドル安となりました。
- ◆15日夜にトランプ米大統領が「新型コロナの新規感染がピークを過ぎた」と述べたことから、緊急事態が続く日本に比べ米国では経済活動の再開が近いとの期待が高まり、一時米ドル買い・円売りが進む場面も見られました。



(注) データは2020年3月17日から2020年4月17日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成